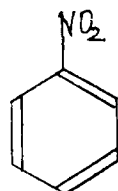


# ニトロベンゼンの分解度試験成績報告書

1. 試験期間 昭和50年6月14日～昭和50年7月26日
2. 試料名 ニトロベンゼン (試料No K-66)
- 分子式  $C_6H_5NO_2$
- 構造式



## 3. 試験方法及び条件

環保業第5号  
 薬発第615号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による  
 49基局第392号

### 3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

### 3.2 酸素消費量測定

3.1の記録による

### 3.3 生分解試験後の直接定量法

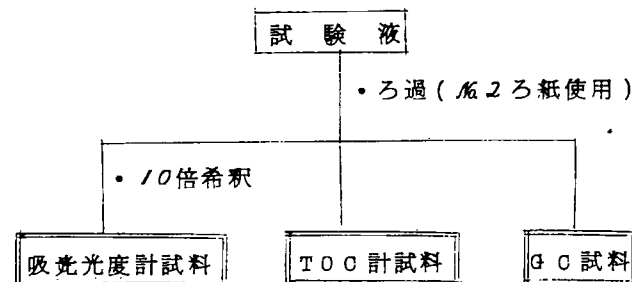
#### (a) 使用分析機器

全有機炭素分析計

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

紫外可視自記分光光度計

## (b) 分析試料の前処理



## (c) 分析条件

全有機炭素分析計 (TOC計)

流速 TC回路 200ml/min

温度 TC炉 820℃

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス  $N_2$

充てん剤 20% PEG-20M/ガスクロム Q

ガラスカラム 2mmφ×1m

カラム温度 105℃

紫外可視自記分光光度計 (吸光度計)

波長 200nm～370nm

スリット幅 4nm

使用セル 石英セル 10mm

(以下余白、次頁に続く)

#### 4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	3.3	1	—
T O C 計による結果	1.6	2	1
G C による結果	0.4	3	2
吸光光度計による結果	1.2	4	3

#### 5. そ の 他

クーロメーターからの水系・汚泥系共残留量が少ないのは、揮散性によるものと考えられる。

参考試験として揮散試験(図一5参照)を行った。

以 上